

ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板産業の現状

令和8年6月23日
関税・外国為替等審議会
関税分科会特殊関税部会
経済産業省

ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板の概要

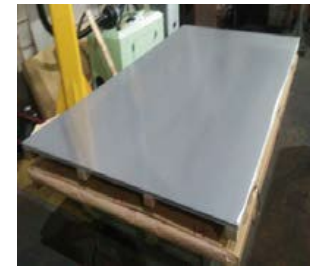
ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板とは

- ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板とは、鉄に10.5%以上のクロムを含有し、ニッケルの含有量が全重量の0.6%を超える合金鋼である。
- ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板は、機能性(耐食性等)及び意匠性(美麗・清潔感)を兼備する点に特徴がある。
- 我が国でニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板を生産しているのは、日本製鉄(株)、日本冶金工業(株)、ナス鋼帯(株)、日本金属(株)を含む7者である。

【外観】



冷延鋼帯



冷延鋼板

(写真提供:申請者)

ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板の主な用途

- ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板は、主に耐食性及び加工性が求められる様々な用途で使用されている。
- 主な用途は、建築(屋内配管等)、家電・精密機器(食器洗い機等)、厨房・家庭用機器(洋食器等)、輸送機器(鉄道車両等)、産業機器等である。

【用途例】



屋内配管



食器洗い機



洋食器



鉄道車両

(写真提供:ステンレス協会)

ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板産業の現状

ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板産業の現状

- ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板の国外の主な生産国・地域は、中国・台湾等。
- ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板は、様々な用途で用いられる重要な基礎資材であり、国内の産業基盤を支えている。
- 国内のニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板産業は、国内の川下産業の需要に応えた高品質製品の生産を通じて、その国際競争力の強化に寄与するとともに、原子炉設備やダム設備で用いられる部材の生産を通じて、社会インフラの強靱化に貢献している。
- 以上の産業の現状に照らせば、ニッケル系ステンレス冷延鋼帯・冷延鋼板産業が国内から撤退した場合には、国内の産業基盤が揺らぐおそれがある。

※ 中華人民共和国(香港地域及びマカオ地域を除く)を「中国」という。

※ 台湾、澎湖諸島、金門及び馬祖から成る独立の関税地域を「台湾」という。